

# NHP210-300S/600D

膜分離活性汚泥法（MBR）用 浸漬膜モジュール

東レのMBR用膜モジュールNHP210シリーズは従来のTMR140シリーズの優れた膜性能を引き継ぎ、さらに膜充填率を50%増加させました。膜充填率を増加させたことにより、散気量を削減でき、消費電力が低減できます。

平膜エレメント	単位	
型式	TSP-50080	
公称孔径	μm	0.08
材質	膜	PVDFおよびPET不織布
	ノズル	PE
有効膜面積	m <sup>2</sup>	0.7
寸法（全幅 x 全高 x 厚さ）	mm	477 x 800 x 2
重量（乾燥時 / 湿潤時）	kg	0.25 / 0.5



図: NHP210-300S

## モジュール

型式	エレメント 装填数(枚)	カセット構造	膜面積 m <sup>2</sup>	外形寸法(幅x長さx高さ) mm
ECS035(カセット)	50	—	35	485 x 440 x 818 <sup>(1)</sup>
NHP210-300S	300	(3列2段) x 1個	210	微細タイプ: 763 x 1,702 x 2,175 粗泡タイプ: 763 x 1,635 x 2,175
NHP210-600D	600	(3列2段) x 2個	420	微細タイプ: 763 x 1,702 x 3,845 粗泡タイプ: 763 x 1,635 x 3,845

(1) 集水管を除いた寸法

重量(乾燥時) kg	エアレーション ブロック	カセット / エレメントブロック	モジュール
ECS035(カセット)	—	18	—
NHP210-300S	微細タイプ: 55 粗泡タイプ: 40	200	微細タイプ: 255 粗泡タイプ: 240
NHP210-600D	微細タイプ: 55 粗泡タイプ: 40	400	微細タイプ: 455 粗泡タイプ: 440

## 用途

下水処理・工場等での廃水処理・中水再利用などの幅広い用途にご使用頂けます。

# NHP210-300S/600D

膜分離活性汚泥法 (MBR) 用 浸漬膜モジュール

散気量 <sup>(1)</sup>	NL/分/モジュール <sup>(2)</sup>
NHP210-300S	1,000~1,300 (標準1,300) <sup>(3)</sup>
NHP210-600D	1,000~1,300 (標準1,300) <sup>(3)</sup>

(1) プロワなどの空気供給装置は標準運転条件下で設計して下さい

(2) 0°C、101,325 kPa (1 atm)での空気量

(3) 粗泡タイプの場合、上限2,000NL/分/モジュール

運転条件	
水温	5~40 °C
pH	5~10
最大MLSS濃度	18,000 mg/L
膜間差圧	薬液洗浄: 同一流量において初期安定圧力より 5 kPa 上昇するまでに実施 最大許容: 20 kPa 以下
薬品洗浄時供給圧力	10 kPa 以下
洗浄薬品および濃度	次亜塩素酸ナトリウム: 2,000~6,000 mg/L (10 < pH < 12) シウ酸: 0.5~1.0 wt% / クエン酸: 1.0~3.0 wt%

材質	
フレーム	304SS (316SSはオプション)
集水管	PP
散気管	微細タイプ: EPDM/PVC/SUS 粗泡タイプ: PP

配管接続	
集水管	ANSI 1 1/2 インチ フランジ (カセット1段あたり1ヶ所)
散気管	微細タイプ: NPT 1 1/2インチ ねじ込み (両端2カ所) 粗泡タイプ: ANSI 1 1/2インチ フランジ (片端2カ所)

\* 詳細については弊社までお問合せください。

## 東レ株式会社

〒103-8666 東京都中央区日本橋室町2-1-1 日本橋三井タワー  
メンブレン事業第3部

03-3245-4539

✉ お問い合わせ

 LinkedIn  YouTube

water.toray

東レは、本情報の適用から得られる結果、あるいは他社製品と併用した場合の東レ製品の安全性または、適合性についてなんら責任を負うものではありません。お客様の使用目的に対し、本製品の安全性および適合性を判断するために、お客様自身でテストされることをおすすめします。

本データはすべて、技術的修正もしくは製品の変更によって、予告なく変更されることがあります。

2 of 2